

沖縄から COVID-19 の治療薬開発へ！

琉球大学が全国で医師主導治験を開始

琉球大学は2020年11月5日、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の重症化を防ぐ治療薬開発のため、横浜市立大学などと共同で医師主導治験を開始すると記者発表しました。今回行う治験は第Ⅱ相試験であり、酸素投与を必要としない軽症～中等症のCOVID-19患者さんに治験薬を投与し、コルヒチンの過剰炎症抑制効果を検証します。

この治験でコルヒチンの有効性が確認できた場合、より規模の大きな試験で臨床的有效性を確認し、薬事承認を目指します。COVID-19は重症化すると、患者のみならず医療者側の負担も増えてしまいます。コルヒチンが重症化を抑制できれば、患者・医療者双方の負担を軽減することが期待されます。

詳細はこちら【琉球大学公式HP】 <https://www.u-ryukyu.ac.jp/news/18011/>



記者発表の様子

左から池原由美 特命助教、植田真一郎 教授、金城武士 助教、
石田肇 医学研究科長・医学部長、大屋祐輔 琉球大学病院長



説明を行う 金城武士助教



記者発表の様子